

町議会(H23年6月17日全員協議会)からの提案に対する対応

番号	質問項目	答弁要旨	対応方針・状況	担当課
1	観光ボランティアを育成する必要がある。養成講座をやっては。	ボランティアはやる方針である。	観光協会やまちづくり団体と協議して育成の方法を検討し、養成を図ります。実施に当たっては、「北栄ふるさと歴史検定」とも連携して取り組みます。	企画振興課
2	マンガサミットは成功させないといけない。県の補助金などだけでなく、町民を巻き込んだ会を持ち独自のものを検討すべき。	プレイベントなどの活用を図ることとしている。	町も実行委員会に加わり、地域にメリットがある開催になるように働きかけ、協力していく。また、「まんが寺子屋」と連携したプレイベント(平成22年度は青山先生と語ろう会(仮称)、まんが講演会などを予定)をはじめ、この機会を最大限に活用できるよう様々な取組を行います。 観光協会、商工会はじめ町内の関係団体にも情報提供し、協働して取り組んでいきます。(関連イベント、エクスカージョン、JRキャンペーン・イラスト列車の活用など)	企画振興課
3	展示品は短期間に入れ替えて見せていくのがよい。	長期的にはリニューアルも必要、当面展示品の入れ替えなどで対応。	青山先生から御寄贈いただいて展示品は随時入れ替えていますが、今後も入館者の意見も踏まえながら、展示品の充実、適宜の入れ替えに留意していきます。(世界のコミックス、Tシャツ・フィギュアなどのコナングッズ、北栄町関連グッズ等) 館のリニューアルについても検討していきます。	企画振興課
4	全国紙での情報発信や関西広域連合でのPRを考えるべき。	県・関西広域連合に働きかける。湖南市との交流を活用する。	湖南市との交流協定について全国紙掲載されたところですが、今後も、全国的な情報発信ができるようマスコミへの情報提供に努めていきます。8月5日に町長が関西広域連合本部を訪問し協力要請したところであり、今後適宜の情報発信を行っていきます。	企画振興課
5	ふるさと館の名称に愛称でいいので「コナン」を入れられないか。	検討し、小学館に相談してみたい。	まず「コナンの里北栄町」を定着させ、ふるさと館などの頭に付けて使用していく実績を積み重ねていきます。(当面、個々に監修協議を行っていきます)	企画振興課
6	コナンのどこが魅力なのか、なぜ受けているかなどを分析して集客などを考える必要がある。地域への効果なども数字にして把握して町民の理解を得るようにしてはどうか。	経済効果分析などは費用がかかり困難だが、町の知名度など効果のある項目をひろい、質的な把握をし、資料を作成したい。	アンケートなど、必要な調査を行い、分析、資料作成を行います。	企画振興課

番号	質問項目	答弁要旨	対応方針・状況	担当課
7	入館料を安くするより、周辺で使える割引券を発行してはどうか。(入館者がたとえば近くの食堂に入っていく仕組み。)	まず、観光協会や周辺の事業者の可能性はあるか打診してみたい。	割引券をはじめ、周辺に波及効果がある手法を観光協会や周辺の事業者と一緒に検討していきます。	企画振興課

町議会(H23年6月定例会)からの提案に対する対応

番号	質問項目	答弁要旨	対応方針・状況	担当課
1	人口増のための企業誘致、雇用確保策。	まず、すでに進出している企業への訪問を県、大学、産業支援機関などと一緒にいきたい。	本社には、町長が8月5日に訪問したところであり、進出企業については、県と連携し、定期的に訪問していくこととしております。	企画振興課
2	民間の湖南省市との交流の活動への支援を検討すべき。	検討する。	湖南省とも協議・調整の上、9月議会で何らかの支援策を提案したい。	企画振興課
3	広島県世羅町などの事例を参考に農業と観光等を組み合わせた取組をすべき。青山剛昌ふるさと館の周辺でプロジェクトとして取り組みべき。	ふるさと館の活用・相乗効果の発揮、6次産業化の趣旨は同感。 世羅町へ調査訪問団を派遣。 6次産業化の事例調査。 農業者などへの啓発を実施。	世羅町調査訪問団派遣は、7月6日に実施したところであり、今後、先進事例を勉強しながら、ふるさと館・コナンの活用の検討を進めます。(まず役場内で、地元関係者とも協議していきます。	企画振興課
			6次産業化の事例調査および農業者をはじめ町内関係者への普及啓発の取り組みを行います。	産業振興課 企画振興課
4	北条川放水路分水堰の運用について分水堰を倒伏した場合には、これまで休止していた分水堰サイレンを鳴らすとともに、防災行政無線を使って全町的に周知するべきではないか。分水堰が倒伏しているか否か役場担当課に問い合わせたが、判然としなかった。自然災害に十分対応できる体制づくりが必要。	住民への周知の方法は中部総合事務所と調整しながら検討していく。 分水堰の状況を把握できていなかったことは反省し、担当課にはきちんとした体制をとるよう指導する。	サイレン、防災行政無線については、地元関係自治会(サイレンは中部総合事務所も)の意見を聞きながら、その鳴響の方法を検討する。 分水堰の倒伏等に関し住民から問合せがあった場合に、担当者以外の職員も状況を説明できるよう、課全体で情報共有を徹底する。 (ホワイトボードへの記録、県土整備局HPへの常時アクセス)	産業振興課
5	風力発電事業会計の歳出について望遠カメラは高額な望遠レンズ付でなく、安価でズーム付のビデオカメラで事足りるのではないかとビデオカメラで撮影実験してみられたい。	ビデオカメラでの撮影実験をした上で、選定を検討します。	350mmの望遠レンズでは期待した画像が得られなかったが、500mmの望遠レンズでは鮮明な画像が得られた。実際の写真を示し、理解が得られたので500mmの望遠レンズ付カメラを購入することとします。	生活環境課